

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月1日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 太陽工機

コード番号 6164 URL <http://taiyokoki.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 登

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 小林 秋男

TEL 0258-42-8808

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,312	3.0	563	11.8	533	13.3	490	5.3
24年3月期第3四半期	4,188	73.0	503	—	470	—	465	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	168.62	167.82
24年3月期第3四半期	160.22	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,531	2,120	59.5
24年3月期	3,823	1,656	42.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,100百万円 24年3月期 1,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	5.1	750	11.8	700	11.8	640	21.4	220.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	2,978,200 株	24年3月期	2,978,200 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	66,815 株	24年3月期	70,815 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	2,909,364 株	24年3月期3Q	2,907,413 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	1
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済並びに工作機械業界は、欧州及び中国経済が最悪期を脱しつつあり、明るい兆しもでてきております。

当社を取り巻く経営環境も、受注成約には時間を要しているものの、引合は堅調であり、より多くの受注確保を目指し、営業活動を展開しております。

営業施策としては、本社工場を利用したプライベートショーや中国国際工作機械工具展覧会(CIMES2012)、シカゴ製造技術展(IMTS2012)に続き、日本国際工作機械見本市(JIMTOF2012)に出展し、国内外のユーザー層を拡大するとともに、設備投資ニーズを積極的に掘り起こすことで、受注につなげてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の受注高は、4,035,391千円(前年同期比16.8%減)となりました。うち当社主力機種である立形研削盤は2,818,907千円(前年同期比23.9%減)、横形研削盤は446,499千円(前年同期比42.0%減)、その他専用研削盤は769,984千円(前年同期比106.5%増)となりました。

生産高は、3,937,278千円(前年同期比0.3%増)となりました。うち立形研削盤は2,700,598千円(前年同期比11.0%減)、横形研削盤は636,204千円(前年同期比20.3%増)、その他専用研削盤は600,476千円(前年同期比65.3%増)となりました。

売上高につきましては、ほぼ当初計画通りとなっており、実績は4,312,483千円(前年同期比3.0%増)となりました。品目別に示すと、立形研削盤は2,934,792千円(前年同期比8.4%減)、横形研削盤は753,580千円(前年同期比28.8%増)、その他専用研削盤は624,110千円(前年同期比56.0%増)となりました。

損益につきましては、ロット生産による効率化が奏功し、当初計画より改善が図られております。実績は、営業利益563,179千円(前年同期比11.8%増)、経常利益533,579千円(前年同期比13.3%増)、四半期純利益490,573千円(前年同期比5.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は前事業年度末に比べて316,680千円減少し、2,201,406千円となりました。これは主に現金及び預金が75,996千円、売掛金が278,126千円、製品が78,002千円、原材料及び貯蔵品が77,577千円減少したこと、仕掛品が161,789千円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産は前事業年度末に比べて24,444千円増加し、1,330,065千円となりました。これは主に有形固定資産が19,478千円、投資その他の資産が8,677千円増加したこと、無形固定資産が3,711千円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は前事業年度末に比べて630,984千円減少し、580,498千円となりました。これは主に買掛金が52,026千円、短期借入金が580,000千円、製品保証引当金が29,049千円、役員賞与引当金が30,746千円減少したこと、未払法人税等が22,631千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債は前事業年度末に比べて125,323千円減少し、830,900千円となりました。これは主にリース債務が33,496千円、退職給付引当金が88,461千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて464,071千円増加し、2,120,073千円となりました。これは主に利益剰余金が461,499千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、平成24年5月7日付発表の「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」における開示内容から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う、当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	197,798	121,801
売掛金	1,136,391	858,264
製品	78,002	—
仕掛品	797,617	959,407
原材料及び貯蔵品	294,831	217,254
その他	14,445	45,678
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	2,518,087	2,201,406
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	849,658	808,033
土地	354,269	354,269
その他(純額)	63,440	124,543
有形固定資産合計	1,267,368	1,286,847
無形固定資産	12,791	9,079
投資その他の資産	25,461	34,138
固定資産合計	1,305,621	1,330,065
資産合計	3,823,708	3,531,472
負債の部		
流動負債		
買掛金	250,649	198,622
短期借入金	620,000	40,000
未払法人税等	14,039	36,671
製品保証引当金	84,989	55,940
役員賞与引当金	41,719	10,973
その他	200,085	238,291
流動負債合計	1,211,482	580,498
固定負債		
リース債務	815,747	782,250
退職給付引当金	88,461	—
その他	52,015	48,649
固定負債合計	956,223	830,900
負債合計	2,167,706	1,411,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	466,570	467,482
利益剰余金	527,043	988,542
自己株式	△59,699	△56,327
株主資本合計	1,634,242	2,100,025
新株予約権	21,760	20,048
純資産合計	1,656,002	2,120,073
負債純資産合計	3,823,708	3,531,472

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,188,639	4,312,483
売上原価	2,904,009	2,971,867
売上総利益	1,284,629	1,340,616
販売費及び一般管理費	780,815	777,437
営業利益	503,814	563,179
営業外収益		
受取利息	33	46
受取手数料	1,641	1,853
助成金収入	5,365	2,902
受取保険金	—	3,077
その他	1,756	1,782
営業外収益合計	8,796	9,662
営業外費用		
支払利息	30,631	27,497
売上割引	1,451	4,079
支払手数料	1,311	787
その他	8,309	6,897
営業外費用合計	41,704	39,261
経常利益	470,906	533,579
特別損失		
退職給付費用	—	8,271
特別損失合計	—	8,271
税引前四半期純利益	470,906	525,308
法人税、住民税及び事業税	5,074	34,735
法人税等合計	5,074	34,735
四半期純利益	465,831	490,573

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。